【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和3年6月10日(2021.6.10)

【公開番号】特開2019-211761(P2019-211761A)
【公開日】令和1年12月12日(2019.12.12)
【年通号数】公開・登録公報2019-050
【出願番号】特願2019-75029(P2019-75029)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/30　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　33/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　27/32　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/30
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ
Ｈ０５Ｂ　33/02
Ｈ０１Ｌ　27/32
Ｇ０９Ｆ　9/00　３１３

【手続補正書】
【提出日】令和3年4月19日(2021.4.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前面の反射率がＲｐ（％）である画像表示パネルの当該前面に配置して用いられる反射防止用偏光板であって、
位相差板、直線偏光板を備え、視感度補正直交透過率Ｔｃｒ（％）が、式（１ａ）の関係を満たし、視感度補正偏光度Ｐｙ（％）が９５％以上である、反射防止用偏光板。
Ｒｐ×Ｔｃｒ≦１５０　（１ａ）
【請求項２】
さらにタッチセンサパネルを含み、タッチセンサパネル、位相差板、直線偏光板をこの順に備え、
前記タッチセンサパネルが前記画像表示パネル側となる向きで前記画像表示パネルの前面に配置して用いられる反射防止用偏光板であって、
視感度補正直交透過率Ｔｃｒ（％）が、式（１ｄ）の関係を満たす、請求項１に記載の反射防止用偏光板。
Ｒｐ×Ｔｃｒ≦１００　（１ｄ）
【請求項３】
視感度補正直交透過率Ｔｃｒ（％）が、式（１ｂ）の関係を満たす、請求項１又は２に記載の反射防止用偏光板。
Ｒｐ×Ｔｃｒ≦６８　（１ｂ）
【請求項４】
前記位相差板及び前記直線偏光板のいずれか一方又は両方が重合性液晶化合物の重合体を含む、請求項１～３のいずれか１項に記載の反射防止用偏光板。

【請求項５】
前記画像表示パネルと、前記画像表示パネルの前記前面に配置された請求項１～４のいずれか１項に記載の反射防止用偏光板とを含む、光学積層体。
【請求項６】
有機ＥＬ表示装置である、請求項５に記載の光学積層体。
【請求項７】
前面の反射率がＲｐ（％）である画像表示パネルを準備する工程と、
位相差板、直線偏光板を備え、視感度補正直交透過率Ｔｃｒ（％）が式（１ａ）を満たすし、視感度補正偏光度Ｐｙ（％）が９５％以上である反射防止用偏光板を準備する工程と、
前記画像表示パネルの前面に前記反射防止用偏光板を配置する工程と、を有する光学積層体の製造方法。
$$Rp \times Tcr \leqq 150 \qquad (1a)$$